

カリキュラム

圧倒的な科目数と、領域の幅広さが本学のカリキュラムの特長です。

インターネット上で受講する「メディア授業」を多数開講しており、学びやすいこともメリットです。

正科生

編入の場合でも、専門分野の科目は1年次配当科目から順に受講する事を推奨しています。
心理学を基礎から学び、段階的に専門性を深める事のできるカリキュラムになっています。

M メディア授業(eラーニング)

映像・電子資料(パワーポイント等)を、インターネット上で配信する授業形態です。

T テキスト授業

シラバスにしたがって指定された教科書を読み進める授業形態です。

S 対面スクーリング授業

教員と学生が対面でコミュニケーションをとりながら学習する授業形態です。

OS オンラインスクーリング授業

教員と学生がオンラインでコミュニケーションをとりながら学習する授業形態です。

	1年次	2年次	3年次	4年次	
学びのイメージ	教養教育科目		専門教育科目		
	心理学の基礎を学び、幅広く心理学に触れることにより興味を広げる。	データ解析など、心理学の実践を経験し、各領域の心理学の理論や知見を学び理解を深める。	心理学を用いる研究法を身につけ、各領域の心理学の知見や理解を結びつけて考察する。	より専門性が高い講義で学びを深め、日常生活に活かせるスキルを身につける。	
専門教育科目	共通領域	(必)心理学概論 M (必)総合心理学概説 M (必)心理学実験演習I M (必)心理学実験演習II M T S (必)心理学研究法I M T (必)心理学統計法I M (必)自己表現研究I M OS 自己表現研究II M OS	(必)心理的アセスメントI M T 心理実践講義 M 心理実践演習 M OS 心理学史 T 心理学統計法II M 心理学データ解析 S 社会調査法(社会心理調査) M T 総合心理学基礎研究I M T 総合心理学基礎研究II M T	心理的アセスメントII M OS 英書講読 M T 心理学研究法II T 心理学統計法III(多変量解析) M T S 卒業研究I M T S 卒業研究II M S	卒業研究III S 卒業研究IV S
	臨床心理学領域	(必)臨床心理学概論 M パーソナリティ心理学 M T 公認心理師の職責 M	カウンセリング M 対人援助論 M T コミュニティ心理学 M 関係行政論 M T	心理学的支援法 M 異常心理学 M 司法・犯罪心理学 M 心理演習 S	心理実習 S
	社会・産業心理学領域	テキスト授業とスクーリング授業が選択可能 「心理学実験演習II M T S」は受講方法が選択可能! M T S or M S メディア授業 or テキスト授業 スクーリング授業	(必)社会・集団・家族心理学I M T 社会・集団・家族心理学II M 産業・組織心理学 M T チームワークの心理学 M 消費者行動論 M	広告と消費の心理学 M 環境心理学 M マーケティング調査演習 M S コーチング心理学 T	
	発達・教育心理学領域	自身の希望により選択し、自分にとって学びやすい方法で学習が可能です。	(必)発達心理学I M T 発達心理学II M T 教育・学校心理学 M T	発達臨床心理学 M T	
	行動・脳科学領域		(必)学習・言語心理学 M 感情・人格心理学 M T 実験心理学 M T 知覚・認知心理学 M 行動分析学 M T	こころの脳科学 M 神経・生理心理学 M T	
	健康・福祉心理学領域	人体の構造と機能及び疾病 M T	(必)健康・医療心理学 M 福祉心理学 M T	障害者・障害児心理学 M T メンタルヘルス・マネジメント M T 医療と生命の倫理 M 精神疾患とその治療 M T	
	専門関連領域		コンピュータシステム概論 M マーケティング入門I M 広告とマスメディア M	経済心理学 M 行動経済学 M	

教養教育科目	コア科目群	(必)クリティカルシンキング (必)ライティング基礎 (必)ITリテラシー (必)データサイエンス基礎 (必)英語IA、IB (必)英語IIA、IIB (必)知へのマインドセット	数学的思考を身につける アカデミックライティング AIリテラシー 情報社会論 歴史から学ぶ ジェンダーとダイバーシティ 現代のメディアと表現 国際関係入門	日本国憲法 くらしと経済 私たちのくらしと行政 京都の歴史・文化I、II 文学と京都 健康に生きる 地球の環境と自然 生命と生態系	比較文化論 異文化コミュニケーション論 芸術と文化 文化人類学 言語コミュニケーション論 中国語I、II 英語III A、III B
	教養教育科目群				